

低密度植栽地における現地検討会（令和5年6月27日開催）

- ・ 現地視察：福島県東白川郡棚倉町（棚倉森林管理署管内）
- ・ 意見交換：塩那森林管理署（栃木県大田原市）

植林から育林にかけての造林初期投資の低減は、今後「新しい林業」の実現を通じて循環型の林業を成立させる上で必須の課題となっています。

棚倉森林管理署管内に平成9年に設定されたスギ低密度植栽試験地には、600本/ha、800本/ha、1,200/ha（対象区3,000本/ha）の試験区があり、植栽後26年が経過しています。

低密度植栽や下刈りの省力化を検討する上で、本試験地の状況を把握することは非常に有効であることから、栃木県林政関係者及び栃木県2署の関係者により現地で成長状況等の確認を行うとともに、塩那森林管理署会議室に移動して、低コスト造林の取組や今後の「とちぎフォレスターズネットワーク」の活動などについて意見交換を行いました。



現地検討会には42名が参加



ドローンによる画像



意見交換では今後の活動についても議論